



行動経済学会奨励賞受賞者

(2018年12月8日・9日開催 第12回大会)

行動経済学会では2010年大会より、行動経済学研究の発展と若手研究者の育成・顕彰を目的として「行動経済学会奨励賞」を設けました。

一般口頭報告セッションで報告された対象論文13件を厳正に審査した結果、今回は以下の通り、岩崎 敬子（ニッセイ基礎研究所）、顧 元琪（東京大学大学院）に決定しましたので、ご報告申し上げます。

なお、授賞式は次期大会で執り行う予定です。

受賞者：岩崎 敬子（ニッセイ基礎研究所）

報告論文：Tax Literacy, Time and Risk Preference, and Retirement
Planning in Japan

共著者：中嶋 邦夫（ニッセイ基礎研究所），
北村 智紀（東北学院大学）

受賞者：顧 元琪（東京大学大学院）

報告論文：言葉の力はデータではなくエピソードにあり：
言語確率と個人の存在が寄付行動に与える影響

共著者：本田 秀仁（安田女子大学），
植田 一博（東京大学）